

---

## サンパウロ大学 交換留学 月例報告書 (10月)

国際文化学科3年 北島未悠

---

### はじめに

サンパウロ大学<sup>ウスビ</sup> (USP) に交換留学中の北島未悠です。時間が経つのは早いもので、留学期間の折り返し地点を迎えました。今回は、ブラジル留学の魅力の一つとして、留学期間前半の思い出を共有します。加えて、ブラジルを存分に楽しむために、防犯上気をつけていることをご紹介します。

### ずっと会いたかった人々との再会

大学1年生の時に参加した「令和4年度ブラジル青少年派遣事業」でお世話になった方々や仲良くなった友達と、約2年ぶりに再会することができました。「おかえり！」と歓迎してもらい、嬉し涙がこぼれました。私をあたたかく迎え入れてくれる人々の存在は、この留学において、間違いなく私の心の支えとなっています。

### USPで出会った新しい友達

この3カ月の間に、USPでたくさんの友達ことができました。まず、日本人留学生のみんな。現在 USP には、私を含めて10人の日本人留学生がいます。普段の生活だけでなく、ブラジル連邦警察署での手続きが必要な「外国人登録証」の申請や銀行口座の開設など、様々な場面で助け合って乗り越えています。次に、ブラジル人学生のみみんな。私の友達の多くは日本語を専攻しており、日本に高い関心をもっています。アニメや漫画が人気なのは言うまでもなく、日本の近代文学や歴史などを学んでいる人も多いです。日本の小説家や神社仏閣、私が長年続けている書道の話がポルトガル語で盛り上がるのは、とても新鮮で面白いです。そして、ほかの国・地域出身の留学生のみみんな。特に親しい友達はイタリア人と中国人のルームメイトで、よく自分の国の生活習慣や料理を紹介し合っています。また、ポルトガル語の授業で仲良くなったドイツ人の友達とは音楽の趣味が合い、先日は一緒にピアノリサイタルに行きました。これらの恵まれたご縁は、本当にありがたい限りです。

### お出かけの記録



#### 📍 リオデジャネイロ旅行

ビーチ、キリスト像、ボサノバ ...  
ゆったりと流れる時間を満喫しました(^^)



#### 📍 ピクニック

USPの友達と公園でピクニックをしました(^^)/  
お菓子や飲み物を持ち寄り、とても賑やかでした。



#### 📍 パウリスタ大通りの歩行者天国

路上で行われている演奏や大道芸を鑑賞したり、大通り沿いにある展望台から街を眺めました!(^^)!

## 防犯のために実践していること

ブラジルで発生する強盗から命を守るために最も重要なことは、**襲われた時に抵抗しないこと**です。そのうえで、私は「**強盗のターゲットにならないこと**」を目標に、主に以下の対策を実践しています。

### ① 情報収集をする

外務省の「海外安全ホームページ」や在サンパウロ日本国総領事館の「安全の手引き」などに、地区ごとの治安情報や邦人被害事例、対策が掲載されています。より安全な判断ができるように、これらを熟読しました。また、現地の人から教わった、特に危険／比較的安全な地区や経験談も、非常に参考になります。

### ② 周囲を警戒しながら堂々と歩く

徒歩で移動する時は、時々素早く振り返り尾行されていないか確認したり、歩き慣れていない（観光客・隙がある）と思われないようにシャキシャキ歩いたりしています。また、明るく人通りのある道を選び、なるべく歩道沿いに店がある所を歩いています。危険を感じたらすぐに店の中へ避難する作戦です。

### ③ 高価なもの（高価に見えるもの）を身に付けない

アクセサリやヨソ行きの鞆、私が好きなオフィスカジュアルな服は、すべて日本に置いてきました。お洒落をしている現地の人も多いですが、例えば同じネックレスを付けている私と現地の人が並んだ時、先に狙われるのは私だろうと思うので、ラフな恰好をしています。スマホも絶対に路上で使わないようにしています。

### ④ 移動手段は臨機応変に選ぶ

私がよく使う移動手段は、地下鉄・Uber・徒歩です。地下鉄を使うのは、比較的安全な地区に降車駅があり、かつ降車駅が目的地に近い場合です。（サンパウロは地下鉄が非常に発達しており、一律 R\$5.0・約 130 円で複数の路線を利用することができます。地下鉄の車内は比較的安全です。）Uber は一般人が運転手の送迎サービスで、油断大敵ですが基本的に安全です。例えば、Google マップで「徒歩 20 分」と案内されても、その道周辺の治安状況が分からない場合は、Uber を使っています。そして、少し値段が上がりますが、高評価の運転手を選択しています。また、Uber のアプリで、乗車中の位置情報を信頼している現地の人と共有できるようにしています。

### ⑤ ダミーの財布とスマホを用意する・貴重品は分散させて持ち歩く

「強盗に渡すダミーの財布とスマホ」と「普段使いの財布とスマホ」を鞆の別々のチャック付きポケットに入れ、胸元にクレジットカード・USP の学生証・家の鍵を入れたフラットポーチを、鞆の中に紙幣を隠しています。服の内側に付けるタイプのセキュリティポーチは、中身を出し入れする作業が目立つため普段は使わず、旅行や行政手続きの際など、頻繁に取り出す必要のない貴重品（パスポートなど）を持ち歩く時に使っています。

また、もしもの時の被害を最小限にするために、ブラジルで普段使いするスマホを渡航前に別で用意し、日本で使っていたスマホはアパート内だけで使用しています。他にも、地下鉄に乗る時は予め小銭を服のポケットに忍ばせておき、財布を出さずに切符を買うなど、思いつく限りの工夫をしています。



👜 普段使いの財布

財布も目立たないものを使っています。



👜 胸元に隠しているフラットポーチ

クレカはスキミング防止機能付きのカードケースに収納しています。

## おわりに

防犯の話が長くなってしまいましたが、決して「ブラジルはこんなにも危険だ」とお伝えしたい訳ではありません。ブラジルには、素敵なお店や美味しい料理がたくさんあり、出会う人々は優しい人ばかりです。だからこそ、楽しい思い出が悲しい思い出にならないように、自分にできることをしっかりやろうと思っています。11月には、引き続き USP の授業を頑張るとともに、前回の渡伯で訪れた数々の博物館をもう一度巡る予定です。